PAT-NO:

JP410225338A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10225338 A

TITLE:

CUSHION FUTON

PUBN-DATE:

August 25, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SAITO, CHIHARU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SAITO CHIHARU

N/A

APPL-NO:

JP09068896

APPL-DATE:

February 14, 1997

INT-CL (IPC): A47C027/00, A47G009/02, A47G009/06

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a cushion used put on a sofa, etc., to be used as a thin futon (Japanese mattress) or blanket, by attaching a pocket capable of housing the whole parts of itself on to a part of the thin futon or blanket.

SOLUTION: One short side of a rectangular thin futon 2 and one side of a square pocket 1 are correctly matched and the pocket 1 is placed on the center and fixed by sewing together. The size of the pocket 1 is selected corresponding to the size of the futon 2 and the thickness of inner cotton and set to a size capable of housing the whole futon 2. A yardstick of the length

of one side of the pocket 1 is suitable to be about 1/4 of the long side of the futon 2. When the cushion futon is used as a cushion, after taking out the pocket 1 to the surface side and folding double, the futon 2 is folded to the opposite side of the pocket 1 to be three-folds and the pocket 1 is turned over to the surface, the remained part of the futon 2 is folded and stored into the pocket 1 to make the cushion futon into a cushion form for use.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-225338

(43)公開日 平成10年(1998) 8月25日

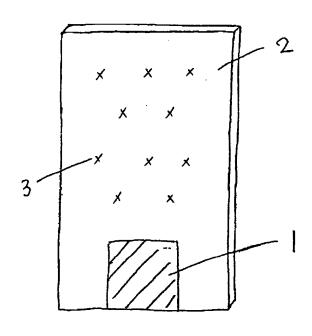
(51) Int.Cl. ⁶		識別記号	FΙ					
A47C	27/00		A47C 2	27/00		G		
			A47G		:	E		
A47G	9/02			9/02	(G		
	9/08			9/06]	Н		
			審査請求	未請求	請求項の数1	書面	(全 3	頁)
(21)出願番号	}	特顯平 9-68896	(71)出顧人	597038817				
				瀬藤 三	f春			
(22)出顧日		平成9年(1997)2月14日			B区大本木 1丁	39番地	135 大	本木
				ピュータ	タワー405			
			(72)発明者	計 清藤 千春				
				神奈川県	神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷2丁目6番地			
				2 17	スペランサ403			
			i i					
					•			

(54) 【発明の名称】 クッションふとん

(57)【要約】

【目的】 うすめのふとんや毛布などにポケットをもうけることによって、クッションとしても防寒用のかけるものとしても利用できるものとする。その結果、広げると厚みがないので洗濯が容易である。また、家の中の利用だけにとどまらず、車に携帯したり、ピクニックやスポーツ観戦などの防寒用にも利用できる。

【構成】 一辺の長さが長方形のうすいふとん2の長い方の一辺の1/4の長さに相当する正方形のポケット1を、うすいふとん2の短い方の一辺ときっちりあわせ中央にもうける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】うすめのふとんや毛布の一部にそれら全体 が収納できるポケットをもうけたことを特徴とするクッ ションふとん。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、クッションの形を していながら、広げるとふとんや毛布のように防寒に役 立つ、クッションとふとんや毛布に関する。

[0002]

【従来の技術】クッションはソファなどの上において、 インテリアとしての役目と背もたれとして利用するのが 主流である。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】クッションにもたれソファなどでくつろいでいるとき、仮眠をとったり肌寒く感じ、しばしば毛布やうすいふとんなどが必要になる。くつろいでいるにも係わらず、わざわざ席を立って用意しなくてはならないというわずらわしさがある。また、クッションはわたが厚く、洗濯すると乾きにくいため洗えないという欠点がある。

【0004】この発明は、従来のクッションがもつ機能性だけでは補えなかった欠点を満たし、うすめのふとんや毛布のように防寒用としても利用できるクッションふとんを提供することを目的とする。

[0005]

【課題を解決するための手段】そこで本発明は、うすめのふとんや毛布の一部に、図1で示すように全体が収納できる大きさのポケット1をもうけたものである。

100061

【作用】本発明では、うすいふとんや毛布をクッションとして使用する際には、図1で示したポケット1の中に全体を折りたたんで包み込むように収納する。このポケットは、全体がおさまる大きさに設定してあるので無理なく折り込み収納することができる。また、防寒用として使用する際には、手軽に広げることができる。さらに、広げた状態であればうすいので洗濯も手軽である。【0007】これにより、家の中ではもちろん、車に携帯して背もたれやひざかけとしても利用できる。また、ピクニックや冬のスポーツ観戦にも最適である。

[0008]

【発明の実施の形態】次に本発明の一実施例を図面を参照しながら説明する。図1は、うすいふとんにポケット1をもうけたものである。長方形のうすいふとん2の短い方の一辺と正方形のポケット1の一辺をきっちりあわせポケット1を中央に配置する。ポケット1の大きさはうすいふとん2の大きさや中綿の厚みに応じて変更し収納可能な大きさに設定できる。ポケット1の一辺の長さの目安は、うすいふとん2の長い方の辺の1/4程度が

適している。

【0009】結び目3は、うすいふとんの中綿が動かないように糸で固定している。

【00010】図2は、ポケット1を表側に出してうすいふとん2をふたつ折りにする。図3と図4は、うすいふとんをポケット1の反対側に折ってみつ折りにする。図5はポケット1を表に返す。図6は、ポケット1の中にうすいふとんの残りの部分を折り込んで収納する。

【00011】この実施例では、最終的にポケット1の中に全体を折り込んで収納してしまうようにする。

【00012】結局、この実施例はうすいふとんにポケット1をもうけることによって、全体を手軽に折りたたんで収納することができる。

【00013】なお、本発明はクッションふとんの材質はうすめのふとんに限定されず、その大きさや厚さも任意である。また、ポケット1の表になる部分には、デザインに趣向をこらすことが望ましい。

[00014]

【発明の効果】以上、本発明のクッションふとんは、うすいふとんや毛布にポケット1をもうけ、このポケットの中に収納することで手軽にクッションとして利用したり、広げてかけるものとして利用することができ、狭いスペースを有効活用できる上、広げれば厚みがないので洗濯も簡単で清潔に保つことが可能となっている。

【00015】これにより、家の中ではもちろん、車に携帯して背もたれやひざかけとしても利用できる。また、ピクニックや冬のスポーツ観戦にも最適である。

【00016】また、図6に示すようにポケット1を表に返したとき、おもて面になる部分には、好みや年齢にあったデザインが可能である。子どもには動物やキャラクターのデザイン、スポーツファンにはスポーツ選手の顔やサッカーチームなどのロゴやマスコットのプリント、女性には刺繍やバッチワークキルトなどデザインで楽しむことが可能となっている。

【図面の簡単な説明】

【図1】うすいふとんにポケット1をつけた図である。 【図2】ポケット1が外側にくるようにうすいふとんを ふたつ折りにした図である。

【図3】うすいふとんをポケット1の反対側にみつ折り にした図である。

【図4】うすいふとんをポケット1の反対側にみつ折り にした図である。

【図5】ポケット1を表に返した図である。

【図6】ポケット1の中にうすいふとんの残りの部分を 折り込んだ図である。

【符号の説明】

- 1 ポケット
- 2 うすいふとん
- 3 結び目

THIS PAGE BLANK (USPTO)